

令和2年度子育て世帯向け アンケート調査結果



平野区役所

【アンケートの概要】

○目的

平野区では、区民の皆さまから区の事業などについてのご意見をうかがい、区政へ反映することを目的として、ひらの区民モニターをはじめとしたモニタリング調査を実施しています。本調査は、子育て層の傾向を探るため、区内在住の18歳以下の方を住民基本台帳から無作為抽出し、その保護者の方にアンケートを実施し、その結果を平野区運営方針の進捗管理や各事業の方向性等を決定する際の基礎資料とすることを目的としています。

○実施状況

実施期間：令和2年11月19日～同年2年12月28日

調査対象：①住民基本台帳より無作為に抽出した0歳～18歳までの区民の保護者 500名

②12月実施の乳幼児健診参加者

調査方法：①郵送

②オンラインアンケートの周知チラシを健診案内に同封又は健診受付時に配付

回答方法：①郵送又はオンライン

②オンライン

回答者数：

	①無作為抽出者			②乳幼児健診参加者	合計(①+②)
		郵送	オンライン		
回答者数	181件	119件	62件	18件	199件
回答率	36.2%				

○回答者内訳

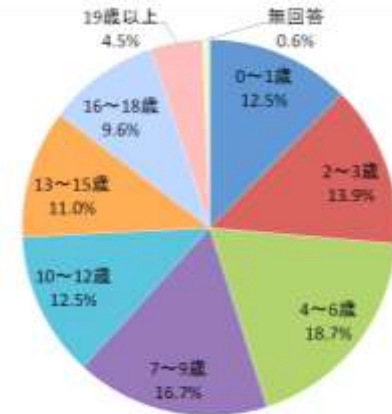
【性別】



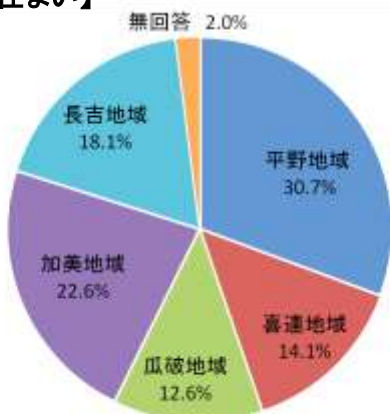
【年齢】



【お子さまの年齢】



【お住まい】



【平野地域】

平野馬場・平野北・西脇・平野元町・平野上町・平野宮町
平野市町・背戸口・平野本町・平野東・平野西・流町・平野南

【喜連地域】

喜連西・喜連・喜連東

【瓜破地域】

瓜破西・瓜破・瓜破東・瓜破南

【加美地域】

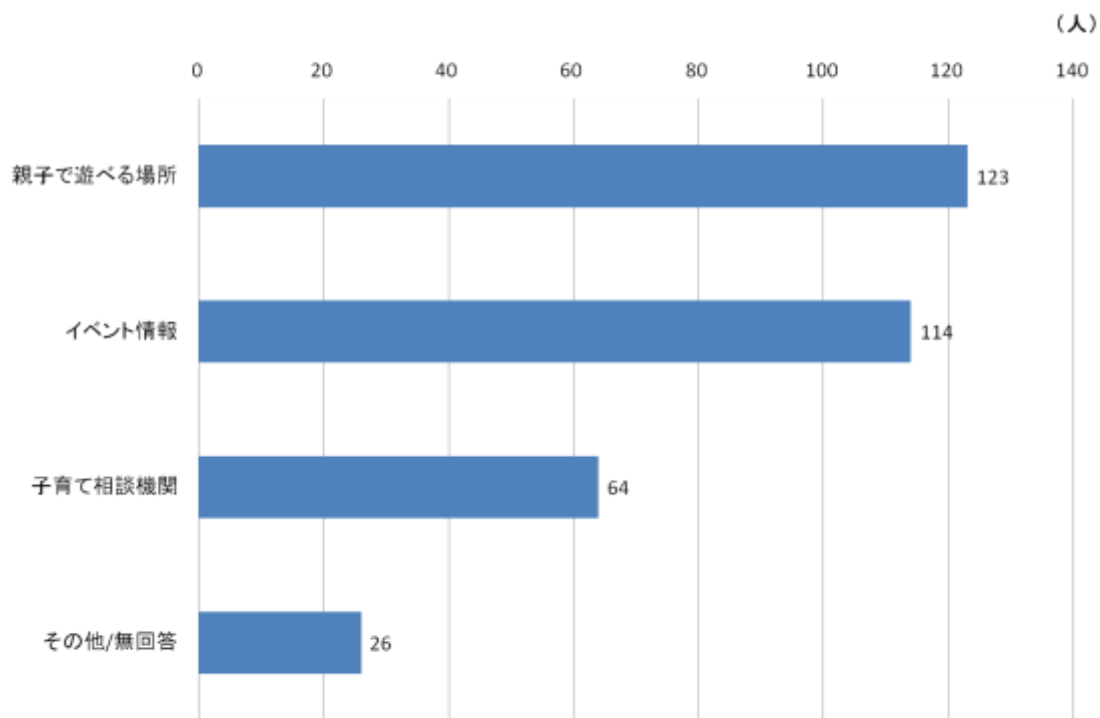
加美北・加美正覚寺・加美東・加美西・加美鞍作・加美南

【長吉地域】

長吉出戸・長吉六反・長吉長原西・長吉長原・長吉長原東・長吉川辺

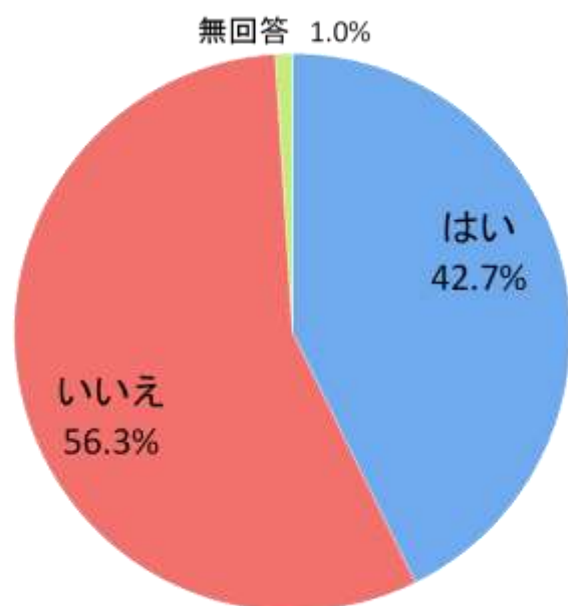
注)円グラフについては、小数点第2位を四捨五入しているため、場合によっては100%とならないことがあります。

【問1】 子育てについて知りたい情報は何ですか？（複数選択可）



子育てについて知りたい情報は「親子で遊べる場所」が 123 人、「イベント情報」が 114 人、「子育て相談機関」が 64 人となっています。その他のご意見としては小児科などの医療機関について、学習塾や習い事の情報、助成金や補助金などがありました。

【問2】 子育ての情報を得ることができていると感じますか？

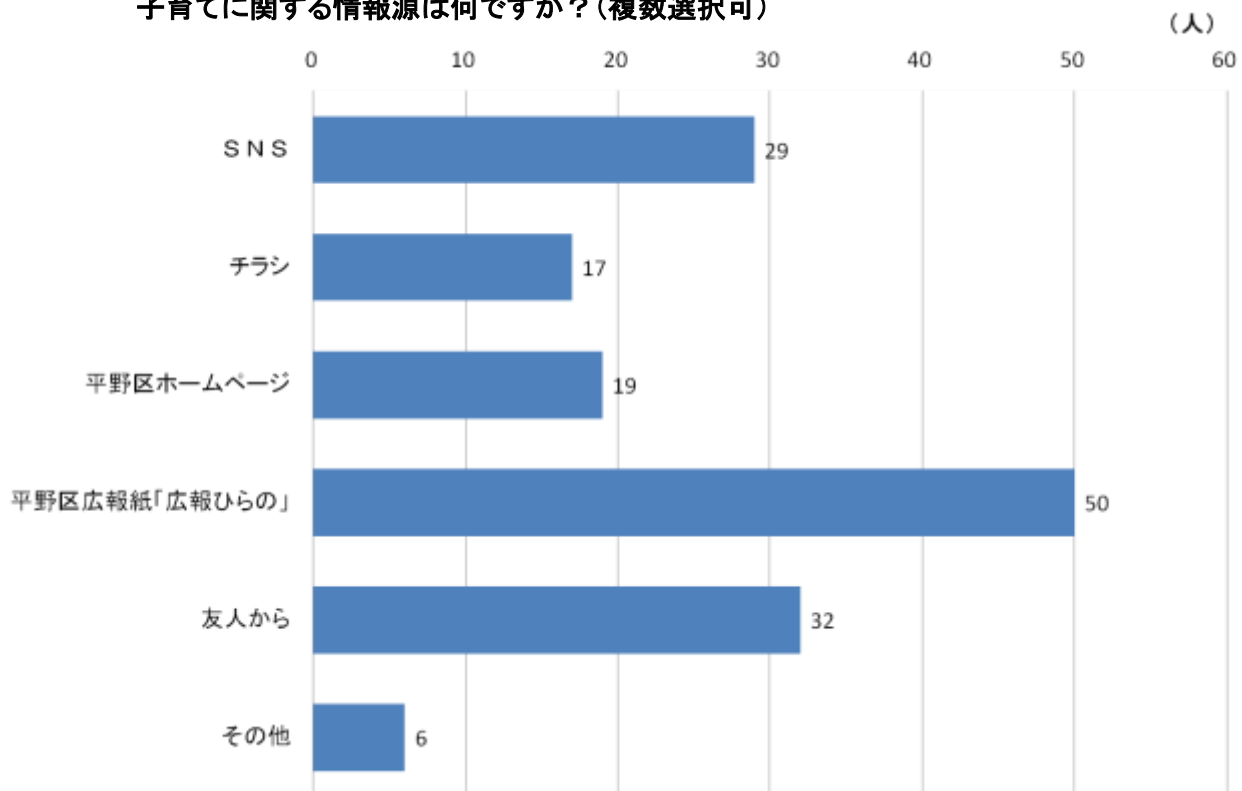


子育ての情報を得ることができていると感じている方が 42.7%、できていないと感じている方が 56.3%で、情報を得ることができていないと感じている方のほうが多いという結果になりました。

アンケートに回答いただいた方の年齢別に見ても 50 歳代以上の方を除くすべてで、できていないと感じている方が多いという結果でした。

【問3-1】 問2で「(1)はい」と回答した方にお聞きします。

子育てに関する情報源は何ですか？(複数選択可)

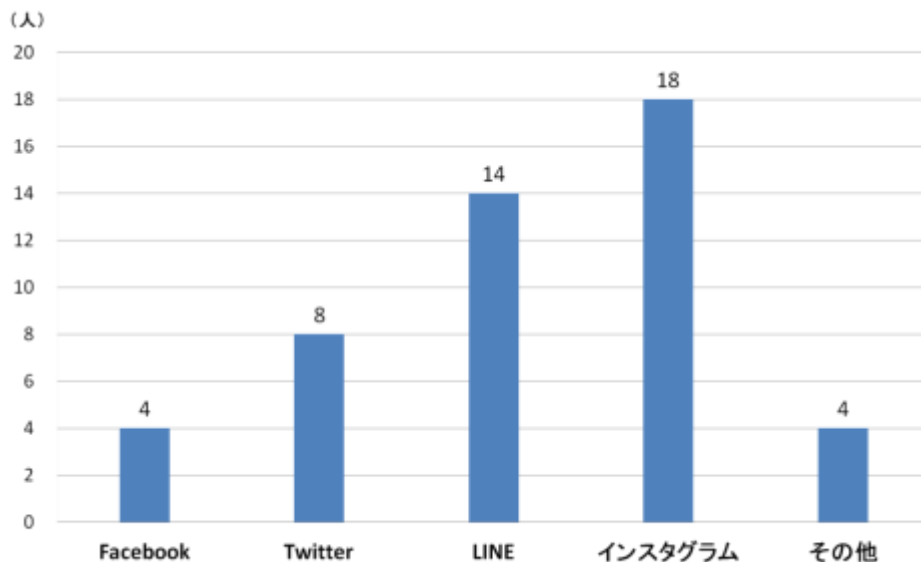


子育ての情報を得られていると感じている方のうち、子育てに関する情報を平野区広報紙「広報ひらの」で得ている方が50人と最も多く、次いで「友人から」が32人、「SNS」が29人、「平野区ホームページ」が19人、「チラシ」が17人となっています。その他のご意見としては子育て支援センター、小学校、保育所から等がありました。

年齢別に見ると40歳代、50歳代以上の方は平野区広報紙「広報ひらの」と回答する方が多かったのに対し、20歳代、30歳代の方はSNSと回答した方が多く、全体を通して見た結果とは違う傾向が見られました。

【問3-2】 問3-1で「(1)SNS」と回答した方にお聞きします。

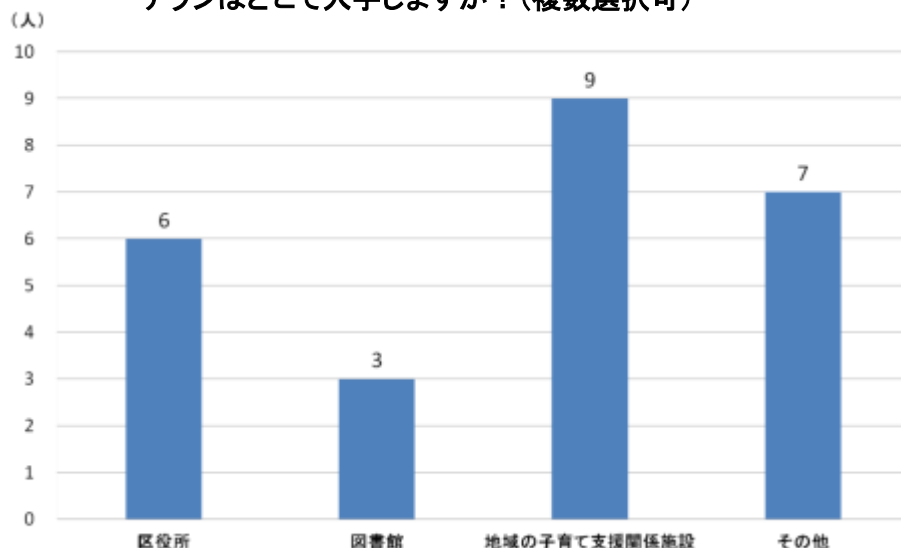
どのSNSから情報を入手していますか？(複数選択可)



子育ての情報をSNSから得ていると回答した方のうち、Instagramから情報を入手している方が18人と最も多く、次いでLINEが14人、Twitterが8人、Facebookが4人となっています。

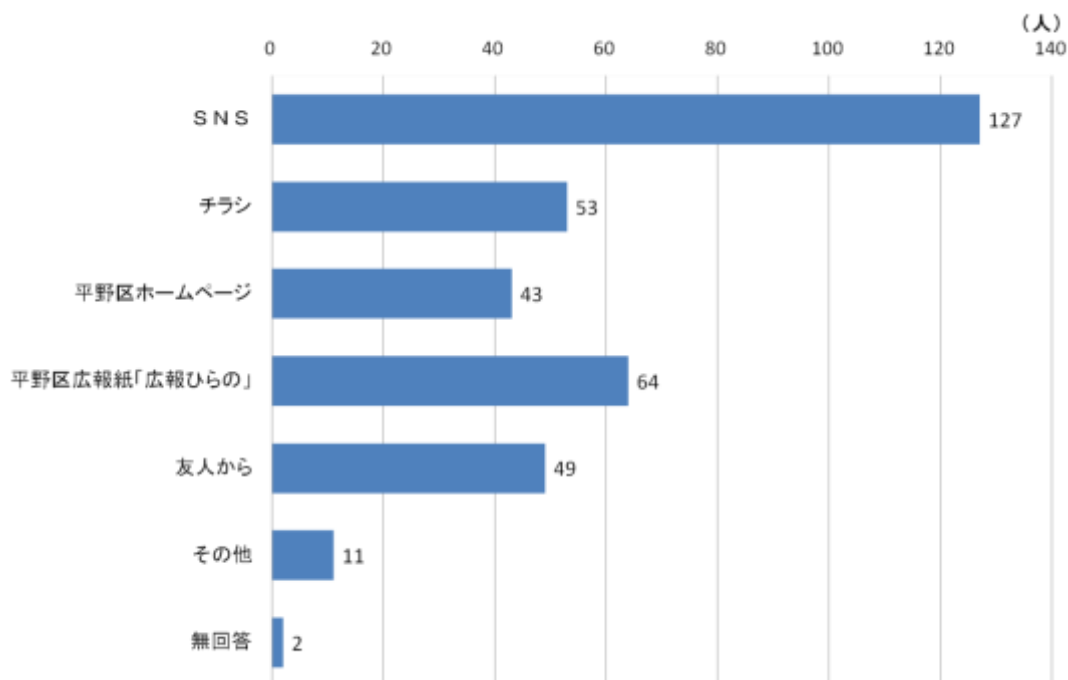
【問3-3】 問3-2で「(2)チラシ」と回答した方にお聞きます。

チラシはどこで入手しますか？(複数選択可)



子育ての情報をチラシから得ていると回答した方のうち、地域の子育て支援関係施設から情報を入手している方が最も多く、次いで区役所、図書館の順となっています。その他のご意見として、駅や学校園などがありました。

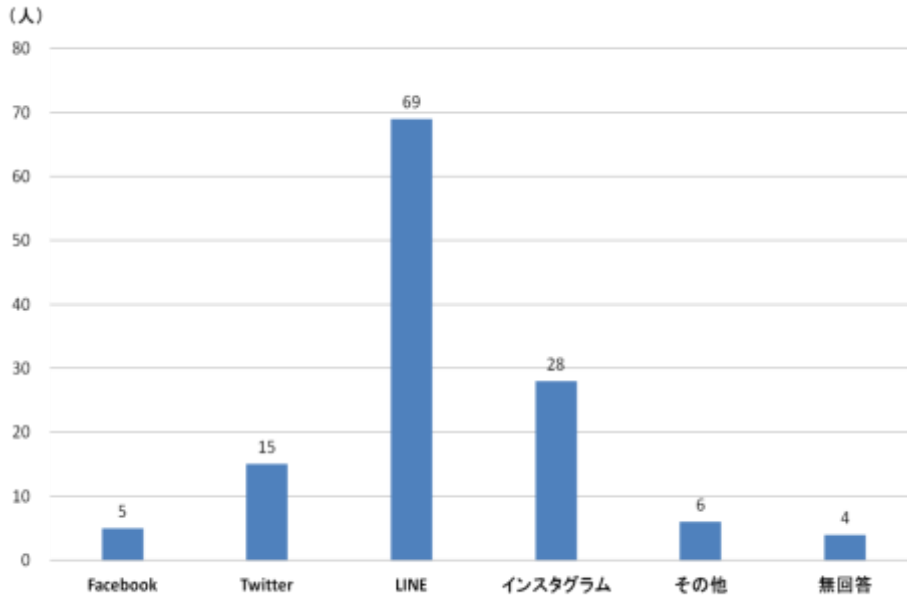
【問4-1】 今後、子育てに関する情報を最も入手しやすいと思う方法は何ですか？(複数選択可)



今後、子育てに関する情報を最も入手しやすいと思う方法として、大半の方からSNS(127人)と回答いただきました。次いで平野区広報紙「広報ひらの」が64人、「チラシ」が53人、「友人から」が49人、「平野区ホームページ」が43人となっています。その他のご意見としてメール配信や学校等への掲示などがありました。

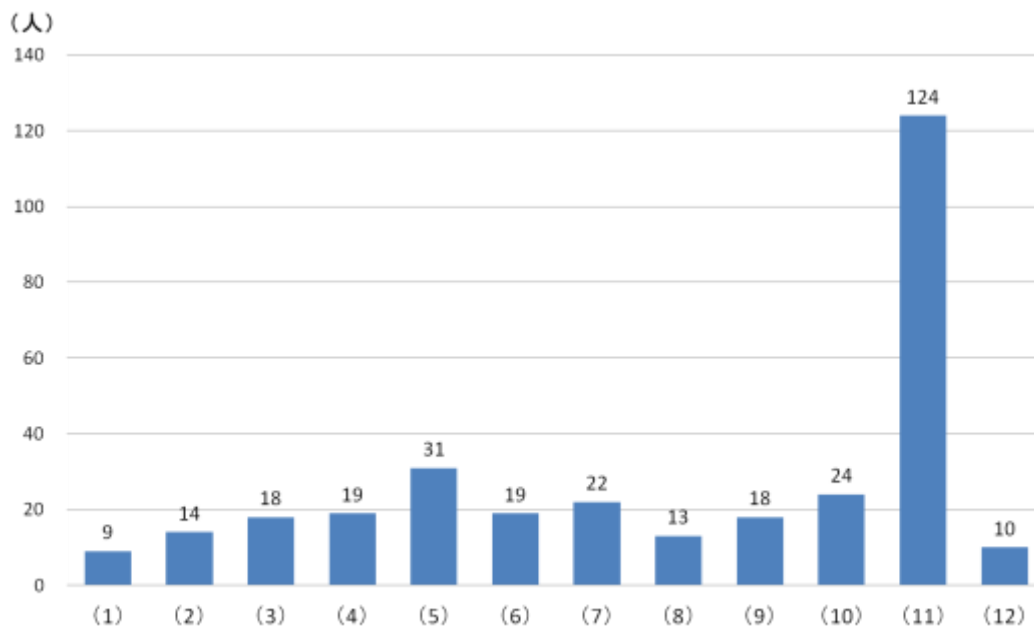
問3-1での結果で平野区広報紙「広報ひらの」と回答された方々も、SNSも利用するとさらに情報を入手しやすいと感じておられる方が多い傾向が見られました。

【問4-2】 問4-1で「(1) SNS」と回答した方にお聞きします。
情報が最も入手しやすいと思うSNSは何ですか？



今後はSNSを情報源として利用したいと考えている方で、最も情報を入手しやすいと思うのはLINEと回答いただきました。次いでインスタグラム、Twitter、Facebook となっています。その他のご意見としてYouTubeや独自のホームページ開設、情報サイトなどがありました。

【問5-1】 平野区の実践で知っているものはどれですか？（複数選択可）



【回答項目】

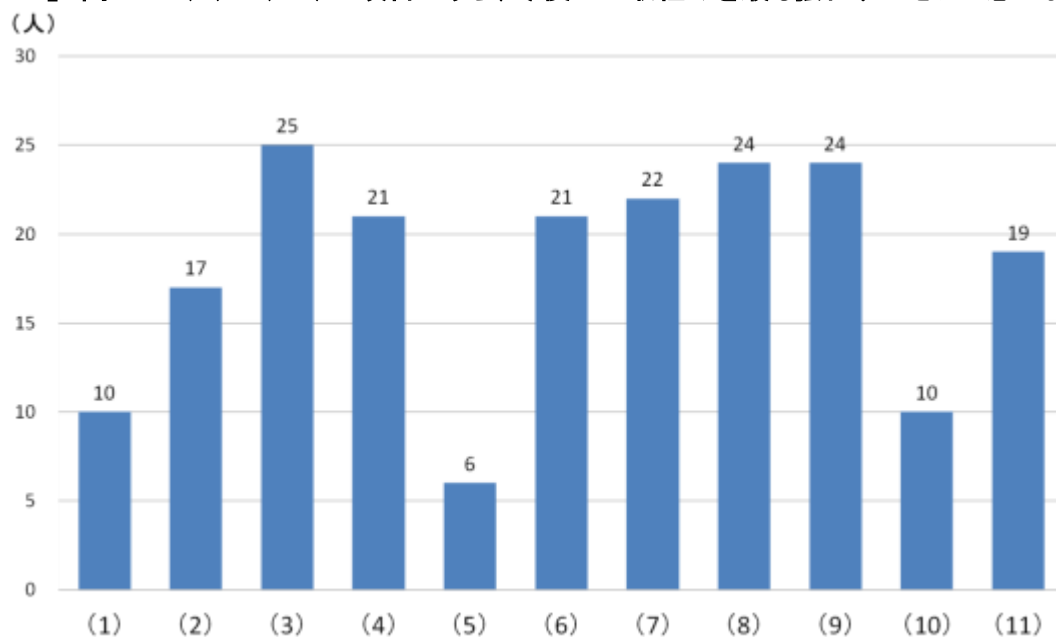
- (1)平野区の教育のあり方について、多様な意見を聴取する仕組み
- (3)こどもの基礎学力の着実な向上
- (5)こどもの防災教育、地域の防災訓練との連携
- (7)こどもの安全確保や社会のルールを学ぶ機会の提供
- (9)「いじめ」「不登校」など学校生活が困難な状況にあるこどもへの支援
- (11)どの取組も知らない

- (2)こどもの学習意欲(モチベーション)の向上
- (4)こどもの基本的な学習習慣・生活習慣の定着
- (6)こどもの居場所づくり・世代を越えたつながりづくり
- (8)子育て世代への包括支援、区福祉部門と学校園との連携、要保護児童対策等
- (10)ひとり親・生活保護世帯への適切な助言等サポートの実施
- (12)無回答

「平野区こどもたちの『生きる力』育成プロジェクト+10」の実践で知っているものを複数回答していただいたところ、回答していただいた中のおよそ 6 割の方が「どの取組も知らない」という結果になりました。

取組を知っていただけている方の中で回答数が多かったのは「こどもの防災教育、地域の防災訓練との連携」(31 人)、次いで「ひとり親・生活保護世帯への適切な助言等サポートの実施」(24 人)となっています。

【問5-2】 問5-1(1)～(10)の項目のうち、今後どの取組みを最も強化すべきだと思いますか？



〔回答項目〕

(1)平野区の教育のあり方について、多様な意見を聴取する仕組

(3)こどもの基礎学力の着実な向上

(5)こどもの防災教育、地域の防災訓練との連携

(7)こどもの安全確保や社会のルールを学ぶ機会の提供

(9)「いじめ」「不登校」など学校生活が困難な状況にあるこどもへの支援

(11)無回答

(2)こどもの学習意欲(モチベーション)の向上

(4)こどもの基本的な学習習慣・生活習慣の定着

(6)こどもの居場所づくり・世代を越えたつながりづくり

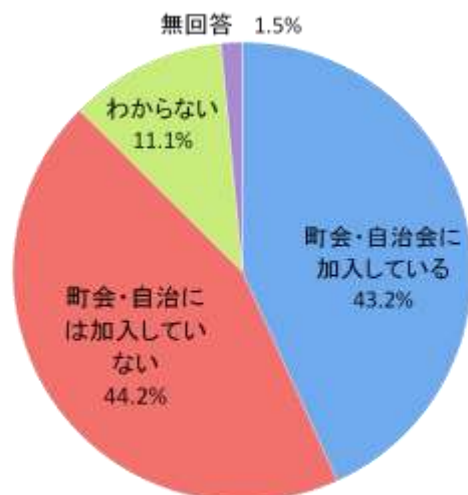
(8)子育て世代への包括支援、区福祉部門と学校園との連携、要保護児童対策等

(10)ひとり親・生活保護世帯への適切な助言等サポートの実施

今後、「平野区こどもたちの『生きる力』育成プロジェクト+10」のうち、どの取組みを最も強化すべきか回答をいただいたところ、「こどもの基礎学力の着実な向上」が 25 人ともっとも多く、次いで「子育て世代への包括支援、区福祉部門と学校園との連携、要保護児童対策等」が 24 人、「いじめ」「不登校」など学校生活が困難な状況にあるこどもへの支援」が 24 人となっています。

ご意見をもとにより効果的な取組を実施していくとともに、現在、取組を知らない方が多数であることも踏まえ、より多くの区民の方々に取組を広報してまいります。

【問6-1】 平野区では、日ごろの見守りや災害時の助け合いにおいて、人と人とのつながりが重要であると考えています。あなたは、人と人とのつながりなどのために町会・自治会に加入していますか？



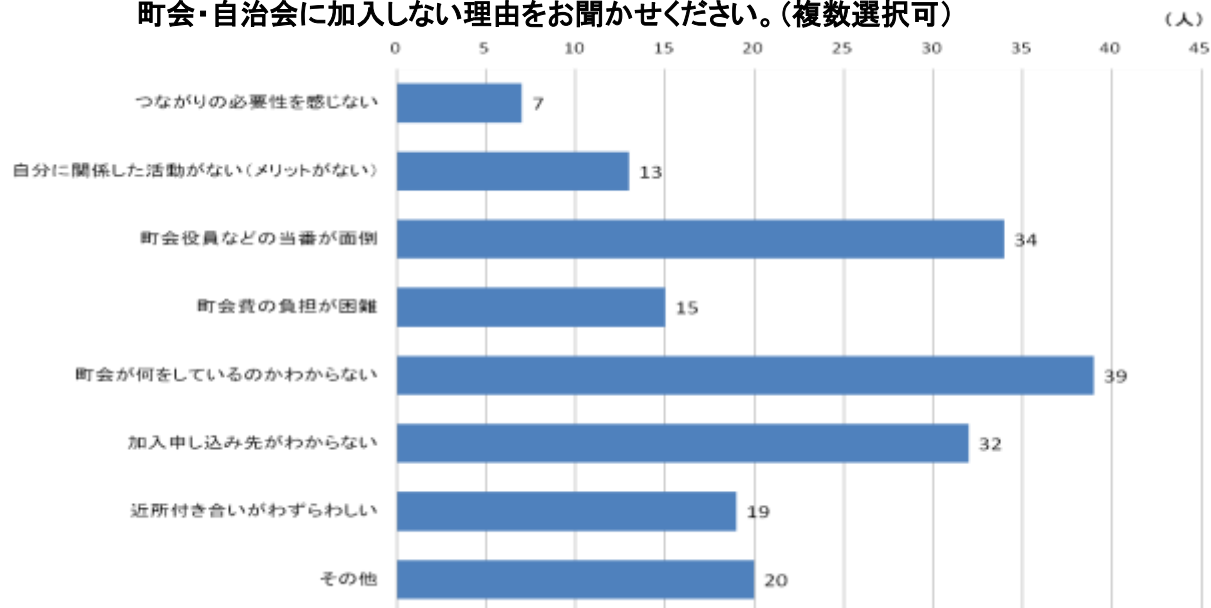
「町会・自治会に加入している」と答えた方の割合は 43.2%となっています。

一方で「町会・自治会には加入していない」と答えた方の割合は 44.2%となっています。

平野区では、「つながり」や「きずな」づくりが大切であると考えており広報紙やホームページ、チラシ等において町会・自治会への加入促進を呼びかけています。

【問6-2】 問6-1で「(2)町会・自治会には加入していない」と回答した方にお聞きします。

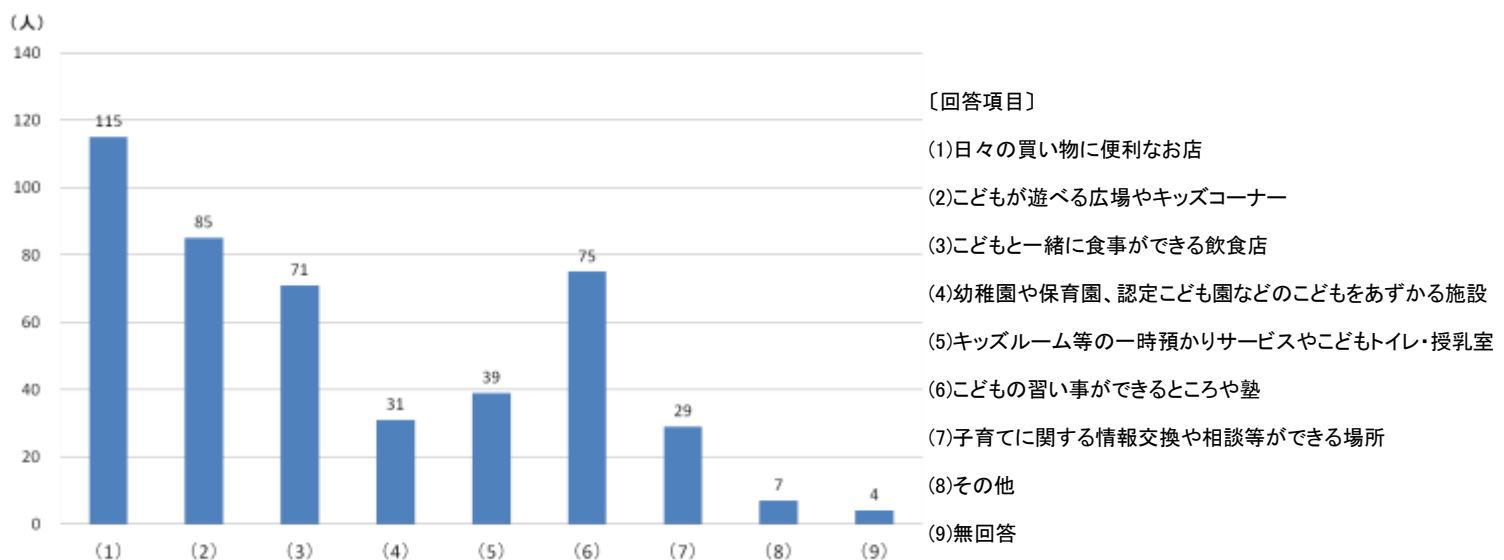
町会・自治会に加入しない理由をお聞かせください。(複数選択可)



町会・自治会に加入しない理由として、「町会が何をしているのかわからない」が 39 人と最も多く、次いで「町会役員などの当番が面倒」が 34 名、「加入申し込み先がわからない」が 32 名となっています。

その他としては、子育てや介護で時間がないからや町会・自治会の存在を知らない、町会・自治会の加入情報がないというご意見がありました。

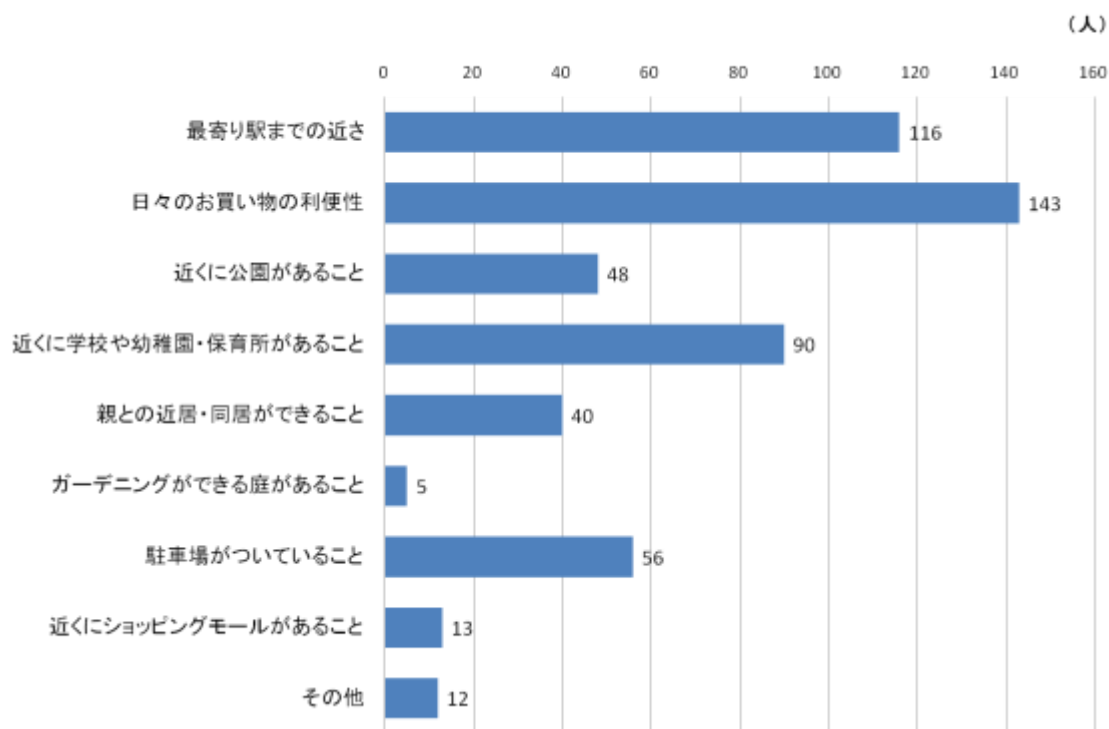
【問7】 駅前にどのような施設や場所があれば、子育て中のあなたにとって魅力的でしょうか？(3つまで選択可)



駅前にあれば魅力的な施設や場所として、「日々の買い物に便利なお店」が最も多く 115 件となっています。次いで、「こどもが遊べる広場やキッズコーナー」が 85 件、「こどもの習い事ができる場所や塾」が 75 件、「こどもと一緒に食事ができる飲食店」が 71 件となっています。

また、「キッズルーム等の一時預かりサービスやこどもトイレ・授乳室」が 39 件、「幼稚園や保育園、認定こども園などのこどもを預かる施設」が 31 件、「子育てに関する情報交換や相談等ができる場所」が 29 件となっており、その他のご意見としては、高学年のこどもが安全に集まれる場所や、おもちゃ・絵本・おさがり(制服や学校用品)などをリサイクルできる場所、図書館などがありました。

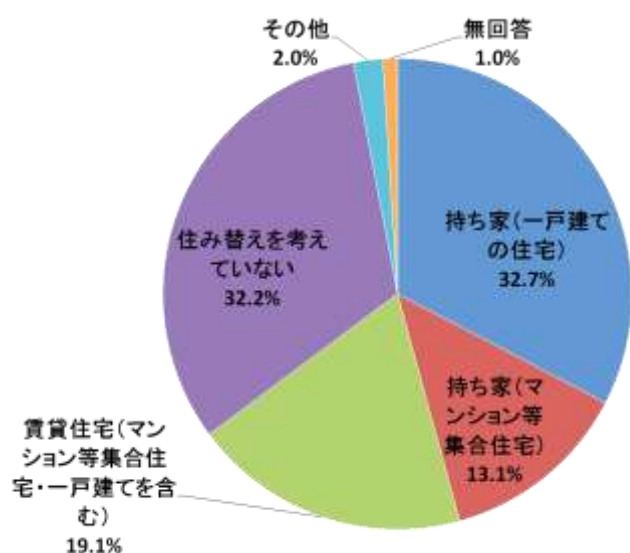
【問8】 お住まいを選ばれる際、どのようなことが重要でしょうか？（3つまで選択可）



お住まいを選ばれる際、重要なこととして、「日々のお買い物の利便性」や「最寄り駅までの近さ」との回答が多くありました。

その他のご意見として静かであること、治安の良さ、職場への近さ、ペットと住めるかなどがありました。

【問9】 今後住み替えを検討される際、どのようなタイプの住宅を選びますか？



「持ち家（一戸建ての住宅）」の割合が一番高く 32.7%となっています。次いで、「住み替えを考えていない」が 32.2%、「賃貸住宅（マンション等集合住宅・一戸建てを含む）」が 19.1%、「持ち家（マンション等集合住宅）」が 13.1%となっています。

【問 10】 区政に関するご意見を自由にお書きください。

〔区政・区役所〕

- ・ 加美出張所があるが重要な手続きは平野区本庁まで行かなくてはならない。出張所での業務内容を見直してほしい。こどもが小さい時遠くまで行くことがとても大変でした。
- ・ 色んな手続きをネットでできるようにしてほしい。
- ・ ペーパーレス化、縦割りではなく各部署連携による手続きの簡素・簡便化をしてほしい。
- ・ 区政の事がよく分からない。SNS(特にLINE)等で色々情報を発信してくれれば気軽に見ることができ、理解する人も増えると思う。LINEで情報発信してくれればいいと思う。
- ・ 区役所が行っていることが完全に一方通行なので、もっと一般市民に伝わるような工夫をしてほしい。
- ・ 目に見える政策を実行してほしい。
- ・ 平野区ホームページが見づらい。特に子育てイベントカレンダーが見づらいので改善してほしい。(スマホで見えます)
- ・ 誰でも気軽に相談やイベントに参加できるようになればと思う。行政のイベントなどは周知されてないことが多く、参加していいのかもわかりにくい。
- ・ アンケート調査を実施するにあたり、こども単位のアンケート送付ではなく、世帯ごとに行えばよいのではないか。2人以上こどもがいる家庭に同アンケートを2通以上送付することはコスト(税金)、資源、労力の無駄だと思う。
- ・ 高齢者支援制度を廃止して子育て世代の更なる支援拡充を求める。
- ・ 平野区は人口が多いので子育てに関する相談機関(子育て相談室など)があっても、担当の方が忙しく問合せも休みや不在ばかりで、軽くあしらわれるといった対応が多い。キャパオーバーしているなら、人員の補充・然るべき相談機関を紹介するなど給料が税金から支払われているのだからきちんとすべき。
- ・ コロナに対する意識が低すぎる。
- ・ コロナで仕事や収入減のため、こどもに使えるお金が減っています。税金など対応頂けたらありがたいです。
- ・ コロナ禍で、母親学級等の教室はなく、出産・入院中も1人でした。そんな中で大阪市から2度の助成金も職業によって除外され、すごく不快な気持ちになりました。お金の問題ではなく、つらく大変な思いをし、こどもを産み育てているのは同じなのに、不愉快です。
- ・ コロナの影響で、病院に入院すると面会できずさみしい思いをしていると思うので何とかしてほしい。
- ・ コロナの感染拡大を受け、小さいこどもたちだけではなく、中高生、大学生にも配慮してほしい。

〔子育て〕

- ・ 幼稚園に勤務しているので、こどもたちの「生きる力」育成プロジェクト+10 で理解できるところはあったが、幼稚園勤務していなかったら、わからない内容が多かった。もっと知れ渡れば良いと思う。
- ・ 大阪府大阪市で子育てに関して利用できる機関、相談窓口があるのかよくわからなかった。区役所も時間内になかなか行けず何かしらの方法でより良く情報を広げていただければと思う。
- ・ 子育てしやすいと言える環境をこどもたちが成長したときにみんなが言えるようになればいいと思う。
- ・ ひとり親がもっと働いても手当てがもらえるようになってほしい。収入により手当てが減ると思うとたくさん働けない。
- ・ 児童手当の見直しが検討されていますが、世帯年収 1000 万円程度では生活と教育を十分に維持することが難しいと考えています。特に3才未満児の保育料が年間ひとりあたり 100 万円弱かかるので家計に負担がかかります。大阪市や区として支援策を考えてほしい。
- ・ 児童手当の廃止や減額などはやめてほしい。そのお金のおかげで将来のこどもの学費などの貯金ができ助かっている。子育て世帯にはないと大変困ると思う。

- ・ 子育てしていくのに 圧倒的にお金が足りない。富裕層と貧困層の差が激しいと感じる。子どもがほしくても育ていけない現実。
- ・ 気軽に低価格で子どもを預けられる安全な施設・サービスがあれば、子育てが苦しく感じられることは少なくなるかもしれません。一時預り認可外保育園等でも良心的価格の一時預りが増えてきていますが、利用枠が少なく、サービスを受けられないことが多いのが現実です。これ以上「自分時間」が確保できなくなり、やりたいことができない人生は辛いと思う。
- ・ 子育て支援センターや保育園や幼稚園でのあそびの場等、子どもを遊ばせる場所が充実しておりとても助かります。子育てコンシェルジュや保育士の方々が親身に話をしてくれるので、日頃の子育ての悩みも解消される。初めての子育てに悩みを抱えているお母さんもたくさんいると思うので、可能であれば産婦人科に子育て支援関係のチラシを置いてもらえると、もっとたくさんのお母さんが行政の力を借りることができるのではと思う。
- ・ まだ子どもが5才以下であった時、地域の子育てサロンでよいお母さん友だちができとても心強かった。育児で孤立しがちな若いお母さん方を助けてあげてほしいと思う。
- ・ 子育てを実際してみるとお金がかかるため、児童手当はとてもありがたいが習い事には不足していると思う。中学生からの塾代補助はあるみたいだが、今は未就学児から習い事をする家庭がほとんどだと思うのでその辺りも補助があれば助かり、子どもを育てやすいのではないかなと思う。
- ・ 近くに習い事・学習塾が少ない。こどもの学力向上のためにも習い事などの施設・情報をもっと増やしてほしい。
- ・ 習い事をまとめたマップやリスト(場所・内容・対象年齢等の記載)があれば大変助かります。マップ等があれば入り口として探しやすく、興味があればそこから詳しく調べるのはネット等で深く知ることができると思う。すでにあれば、もっとわかりやすくアナウンスしてほしい。
- ・ 小学校内での教育方針について、もっと表に情報がほしい。
- ・ 入学の時には小学校の情報がなくて不安だった。たまたま近所の人に、制服のこと等を聞けたので良かったが、知り合いがいない人は不安だと思う。中学校や高校の情報を知るために学校の HP を見るが、テスト結果は各学校の基準がバラバラで比較できない。
- ・ 学校の給食の質を上げてほしい。
- ・ 高校・大学も中学生までと同じような、助成カードがあれば助かる。
- ・ 私立高校の授業料を無償化にしてほしい。
- ・ 障がいをかかえた子どもがいるが、障がい者手帳をとるほどではないため、何のサポートもありますが、学校生活等生きづらさはかかえています。そんな支援もれしている家庭も助けてほしいです。
- ・ コロナの影響により、学校の休校やオンラインでの授業など学力低下が心配です。子どもが安心して過ごせるよう何かあればと思う。
- ・ コロナの影響で私立と公立の学校に通う子どもたちの格差を痛感した。オンライン授業への対応を一刻も早く進めてほしい。動きはあるようだが、とにかくスピード感がない。

〔まちづくり〕

- ・ 白鷺公園等の大きな公園やグラウンドの使用状況を調べられるといいなと思う。子どもが小さい時は団体で利用しているところがあると公園に入りにくく、遊んでいても危ないこともあったので、皆が遊びやすいよう、インターネットで利用予定を確認できたらいいなと思いました。
- ・ 家庭や学校、地域がよりよく連携しこれから子育てをしていく人が優しく安心できるまちづくりを望みます。
- ・ 暮らす事には不安もなく日常を送っていますが、子どもと楽しめる場所はひとつも見つかりません。公園も古く図書館も通いづらい場所にありまして、雰囲気も暗いです。残念に思っています。

- ・ 図書館以外で、子どもたち同士で勉強会や作業等をするスペースがほしい。子育てプラザ等では遊ぶスペースが主でじっくり座って勉強を教えあったりする場所がなく、仕方なくショッピングモールの飲食スペースであることがあり、親としてもおすすめでできないが、場所を提供することもできず困っている。
- ・ 街路樹が少ないため、緑を増やしてほしい。キレイなまちづくりを願います。
- ・ 公園の遊具が故障したら直るまでにすごく時間がかかっているのもう少し早く直してほしい。遊具のない公園で遊ぶと滞在時間が短くなる。
- ・ いろんな人たちの居場所をつくってほしい。
- ・ ますます子どもが住みやすく子育てしやすいまちに生まれえると嬉しいです。

〔防災・防犯〕

- ・ 地域によっては夜暗いので明るくしてほしい。
- ・ 交通ルール(自転車)をもっと大人から子どもまでしっかりと教えることが大事だと思う。交通ルールを守っていない大人が多すぎる。
- ・ 細い道が多く、通学路が車等の危険にさらされる事が多い。信号無視の車が多く見られるため、取り締まりの強化が必要。
- ・ 小学生の帰る姿を見かけますが、中に信号無視や車を確認せず渡りだす子どもがいてヒヤヒヤします。交通安全の指導や、見回りなどあったらいいと思う。
- ・ 見守り隊のようなボランティアの方がもう少したくさんいてもらえると安心です。
- ・ 道の本が車で通りに出るとき(自転車で渡る時も)邪魔で見にくい。緑も大事だが、安全確認も大事なので、良い方法があれば検討してほしい。

〔その他〕

- ・ ご近所の町会・自治会加入している方がどんどんやめていきます。子供会に入る方も減っています。私もやめた方がいいのかなと、不安になります。
- ・ 毎年、クレオ南で行われる「吹奏楽のコンサート」を楽しみにしています。今年はコロナで安全におこなうのは大変だと思いますが、5歳の娘と今年も行きたいと話をしているので、ぜひ、コンサートを行ってほしい。
- ・ 他都市で修繕した家具やおもちゃなどを抽選で購入したことがある。大阪市でも粗大ごみを自治体で修繕してリサイクルできる仕組みをつくってほしい。
- ・ 10月下旬位に 子宮癌ワクチンの案内が届いたが、3回の接種は到底間に合わない。もっと早く案内するべきではないか。